

東海大学医学部付属大磯病院では、
受診時に患者さんから得られた診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認と研究機関の長の許可を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術後ドレーン留置の有用性についての検討

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し後ろ向きに調査し、ドレーン留置群と非留置群に対して術後成績を比較検討することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2016年1月1日から2021年6月30日までの間に、
当院の整形外科で人工骨頭置換術の手術を受けられた方です。

【利用期間（研究実施期間）】

実施許可日から2023年3月31日まで

【研究に用いる診療情報等の項目】

・診療情報等：診断名、手術アプローチ、ドレーン留置有無、術前後採血ヘモグロビン値、手術時年齢、性別、術前待機期間、輸血率、術後創感染率、抗凝固薬内服率、歩行開始時期、退院・転院時に歩行不能である割合。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属大磯病院（電話：代表 0463-72-3211 内線：5176）

研究責任者 整形外科 横山 勝也

問い合わせ担当者 整形外科 横山 勝也